

大規模土砂災害危機管理検討委員会について

1 趣旨

平成16年の中越地震による大規模な天然ダムの形成、平成17年の台風14号による大規模な土石流・地すべり、更に今年も揖斐川や沖縄の地すべり、7月豪雨による岡谷市の大規模土石流、と大規模な土砂災害が頻発している。これら災害においては、警戒避難体制の整備以外にも、大規模土砂災害の準備段階から発生直後の緊急対応まで、各段階に於ける危機管理が重要な課題となっていた。

こうした課題を踏まえ、国土を幅広く管理する国土交通省としての今後の大規模土砂災害に於ける危機管理に関する基本的な考え方に提言・助言を頂くため、「大規模土砂災害に関する危機管理検討委員会」を設置しているものである。

2 委員会の構成

伊藤 和明	特定非営利活動法人防災情報機構会長（元NHK解説委員）
櫻井 敬子	学習院大学法学部教授
志方 俊之	帝京大学法学部教授（東京都参与）
田畑 茂清	財団法人砂防フロンティア整備推進機構・砂防フロンティア研究所長
中貝 宗治	兵庫県豊岡市長
長島 忠美	衆議院議員（旧山古志村村長）
西村 卓士	高知県土佐郡土佐町長（高知県砂防協会会長）
○水山 高久	京都大学大学院農学研究科教授（社団法人砂防学会会長）
村井 仁	長野県知事（元国家公安委員長、防災担当大臣）
○：委員長	

3 これまでの検討経過

(1) 第1回委員会

開催日時：平成18年9月7日

議 事：設立趣旨等について

大規模土砂災害の現状と危機管理に関する諸課題について

(2) 第2回委員会

開催日時：平成18年11月1日

議 事：事例と課題等について

論点整理について

(3) 現地視察

第1回：平成18年10月12日に新潟県旧山古志村方面で実施

第2回：平成18年10月20日に長野県岡谷市方面で実施